



# はまふうどナビ

March 2017

よこはま

# 花

## 特集

横浜市内では色とりどりの花々が生産されています。身近なものから、珍しいものまで、さまざま。横浜ならではの“花と緑のある暮らし”をご紹介します。



2ページ  
●  
部屋を彩る  
切り花・枝物



2ページ  
●  
育てて楽しむ  
寄植え  
の作り方



3ページ  
●  
はまふうど人  
JA横浜花卉部部长  
内倉信夫  
さん



4ページ  
●  
花の農家が  
答える?!  
野菜苗  
のQ&A



### お知らせ

第33回 全国都市緑化よこはまフェア Garden Necklace YOKOHAMA 2017が2017年3月25日(土)～6月4日(日)の間、開催されます。詳細は4 P

はまふうどナビのバックナンバーはウェブサイトでご覧いただけます

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/nousan/tisantisyo/torikumi/hamafoodnavi.html>



## 部屋を彩る 切り花・枝物

市内ではカーネーションやストック等の「切り花」が栽培されていることをご存じですか。カーネーションを始めとする約10品目の切り花を栽培する安西俊之さんは、生物農薬(※)を活用しながら、通常の農薬散布の回数を減らし、環境にやさしい栽培に取り組んでいます。

「切り花はお盆やお彼岸、お正月等、需要の波があるので、その時期に出荷ができるよう、種まきの時期や温室の温度を調整しています。市内産の花は、収穫してから販売するまでの時間が短く新鮮なので、上手に管理すれば、より長く楽しめますよ」と安西さん。

安西さんのカーネーションは11月から5月末頃まで、直売所で購入できます。

(※生物農薬:有害生物の防除に利用される微生物や昆虫などの生物的防除資材)



買ってきた花、もらった花をそのまま飾るのも良いですが、一度ばらして、花を生けてみると、また別の楽しみも味わえますよ。



あんざいとしゆき  
安西俊之さん  
(泉区)

\*安西さんの切り花や吉村さんの枝物が買える直売所は下記参照↓

花を愛でる文化やお客様への感謝の気持ちを込めて、直売所で販売しています。



よしむらよねじゆ  
吉村米寿さん  
(青葉区)

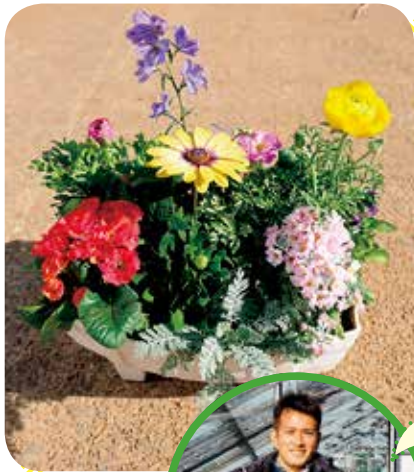
モモやウメ、サクラ、松などの生け花で使用される樹木類の花材「枝物」も市内で栽培されており、直売所で購入することができます。

青葉区で枝物の栽培を行う吉村さんは、畑で栽培しているモモやサクラなどの枝を切り、暗くした温室(室)の中で湿度を保ちながら温めて蕾をふかし、開花させてから、出荷しています。「温室の温度が高すぎると、無理に花が咲いて、すぐに散ってしまいます。適温で管理し、自然と蕾が膨らんでくるように気をつけています」と吉村さん。

3月中旬からはサクラがオススメ。啓翁桜や彼岸桜、河津桜、吉野桜、陽光桜、横浜緋桜など、様々な種類があるそうです。

### 切り花を楽しむポイント

- 花瓶をきれいにしましょう
- 水はたくさん入れずに、切り口から3~5cm程度に
- 毎日水を交換し、同時に水中で切り口を少しずつ切り戻しましょう



- ① 苗、鉢、土、肥料などを準備  
元肥入りの土の場合は、肥料は要りません

寄せ植えの育ち方は季節や環境によって変わっていきます。気に入った花で寄せ植えを作って、どんな風に育つか楽しみながら見守ってください。

ながしましんじ  
永島慎二さん  
(鶴見区)

- ② 鉢に土を入れる  
ポットを植えた時に鉢の縁から1cmくらいの余裕があるように土を入れましょう  
水をやったときのウォータースペースになります



- ③ ポットを鉢に置いて、苗の配置を決める

### 配置のポイント

中央・背: シンボルフラワー  
正面: 横に伸びるもの・サイズが変わらないもの  
横: 垂れるもの

暖かくなるとすぐ大きくなるので、鉢に余裕を持たせた配置にしましょう

- ④ 決めた場所で苗をポットから出して鉢に置き、根元がうっすらかくれるように土を足す
- ⑤ 鉢から水が染み出すくらい水をやる



※その後の管理: 様子を見ながら、土の表面が乾いたら水をやってください。  
元肥が入っている場合は1か月から1か月半くらいで追肥をするとよいでしょう。

## 育てて楽しむ 寄せ植え の作り方

## 直売情報

### 安西さんの切り花が買える直売所

- ◇「ハマッ子」直売所 みなみ店 (045-803-9272・泉区中田西2-1-1)
- ◇「ハマッ子」直売所 南万騎が原店 (045-363-9403・旭区柏町131-2)

### 吉村さんの枝物が買える直売所

- ◇メルカートきた (045-949-0211・都筑区東方町1401)
- ◇「ハマッ子」直売所 中里店 (045-973-2522・青葉区下谷本町40-2)
- ◇「ハマッ子」直売所 たまプラーザ店 (045-905-1353・青葉区美しが丘2-15-1)
- ◇「ハマッ子」直売所 都筑中川店 (045-912-3731・都筑区中川中央1-26-6)

### 永島さんの花苗 寄せ植えが買える直売所

- ◇メルカートかながわ (045-481-3913・神奈川区神大寺2-19-15)



Vol.44

はまふうど

登場

さまざまな立場から地産地消に  
取り組む方をご紹介します



内倉さんが種苗メーカーと共同でテスト生産から始めたガザニア。「世界一のガザニアと自負しています」



## 大切な花への思いを 未来につなげたい

JA横浜<sup>き</sup>花卉部 部長 <sup>うちくらのぶお</sup>内倉信夫さん

「花は、野菜と違って食べて終わり、じゃない。大事に育てて、愛情をかけた分だけ、長く楽しんでもらえます」と話す花の農家 内倉信夫さん。日常の花の栽培、市場への出荷に加え、「花育」の活動や花と緑の祭典「第33回全国都市緑化よこはまフェア」のための花苗づくりに取り組んでいます。



### 多くの人々に 花とのふれあいを広げて

JA横浜港南支店の前の大きな花壇には、丸山台小学校の1年生と保護者の皆さん、農家と一緒に植えた花々が飾られています。春と秋の2回、約1万4千ポットの花苗を、内倉さんを始めとする地元の生産者6軒が提供し、植え方の指導も行っています。

「初めて花苗にふれる子の中には、花をポットから外す意味が分からない子もいます。そんな時は『自分たちもずっと小さな袋に入れられていたら、大きくなれなくて苦しいでしょ？だから花も、大きくなれるように、袋から出してあげるんだ』と教えてあげると、みんな納得してくれます。花の苗も生き物。大事に育てれば、必ず応えてくれます」と内倉さん。10数年にわたり、こうした地域の子どもたちに対する「花育」の取組を続けています。

最近では、福祉施設の利用者に対する花の寄植え講習も開催。寄植えは作った後も世話が必要なため、花にふれながら触覚や知覚を使う良い機会になります。さらに花が咲いた後は、押し花にして額に飾るなど、最後まで花を楽しむひと工夫もプラス。この他にも、JA横浜が行うイベントでの寄植え講習の講師なども担当しており、幅広い年代、多くの人々に花を楽しんでもらえるよう、積極的に活動しています。

### 横浜の花の農家の誇りをかけて

3月25日から始まる第33回全国都市緑化よこはまフェアでは、市内の花の農家の有志18人が栽培した花々が飾られます。主に、2月からはパンジー、4月からはペチュニアが出荷され、ズーラシアに隣接する里山ガーデンの大花壇を約12万株

の花で彩る予定です。

通常、横浜で栽培するパンジーは10月から12月頃にかけて出荷します。普段とは異なる時期にパンジーを出荷するため、内倉さんは自ら、1年前から2月・3月に出荷するためのパンジーを試作。そのデータをもとに、仲間たちと栽培を進めました。量も多いだけに、失敗は許されません。

「以前の横浜博覧会や相模原市での緑化フェアでも、イベント開催に合わせた出荷に向け、先駆的な取組に挑戦していました。その頃、花を出荷するための団体の長をしていたのが私の父。今は、私がその役を担っていて、不思議な巡り合わせを感じます。今回の緑化フェアは地元横浜での開催。横浜で花を栽培する農家としてのプライドをかけています。たくさんの人に花を楽しんでもらうのはもちろん、次世代の若い生産者たちにも、自分たちの姿を見てもらい、未来につなげていきたいです」。“横浜の花の農家”の看板を背負って、今回の栽培に取り組む内倉さん。未来に続く花の農家のこれからは楽しみです。🌸



丸山台小学校の1年生たちに苗の植え方を教える内倉さん



ペチュニアの花

花の農家が  
答える?!

## 野菜苗 のQ&A

春、園芸店やホームセンターで販売されているトマトなどの野菜の苗。その多くは花の農家が作っています。プロの野菜農家にも苗を販売している花農家の田丸さんに、野菜苗について聞いてみました。

**Q** どんな野菜の苗を育てているんですか？

**A** トマトやキュウリ、ナスなどの果菜類から、ブロッコリーやキャベツ、リーフレタスなどの葉菜類まで、色々な野菜の苗を作っています。特にミニトマトは育てやすく、赤や黄、オレンジ、紫、黒、緑など、様々な色があるので、オススメです。

**Q** 良い野菜苗の見分け方は？

**A** 茎が太くしっかりした苗がいい苗です。家庭菜園では早めに苗を買って植えたいという人も多いと思いますが、GWを過ぎたころ、おそしも遅霜が来ない時期になってから植えた方が安心ですよ。



たまるてつお  
田丸哲夫さん  
(都筑区)

種をまいて苗を作る「育苗」は、天候の影響を受けやすいので、加温などをして大事に育てています。



## 直売情報

○メルカートきた

TEL 045-949-0211

住所 都筑区東方町1401

## イベントの お知らせ

### 第33回 全国都市緑化よこはまフェア

Garden Necklace YOKOHAMA 2017

2017年  
3/25 (土) ▶ 6/4 (日)

全国都市緑化フェアは、緑豊かな街づくりを目的として毎年、全国各地で開催される花と緑の祭典です。今年の3月25日(土)からいよいよ横浜で「第33回全国都市緑化よこはまフェア」が始まります。

都心臨海部に広がる「みなとガーデン」と、ズーラシアに隣接した「里山ガーデン」の2つをメイン会場とし、100万本の花と緑で横浜を華やかに彩ります。

詳細はHPをご覧ください。

HP <http://yokohama-fair2017.city.yokohama.lg.jp/>

### 里山ガーデン



### アグリキューブ



## “地産地消”の注目ポイント

### ①里山ガーデンに広がる大花壇！

横浜の農家が大事に育てた花々で彩る、約10,000㎡の大花壇が来場者の皆様をお待ちしています。植栽されているのはパンジーやペチュニアなど、市内で多く栽培されている花々です。

### ②グランモール公園の“アグリキューブ”で横浜野菜の直売が行われます。

みなとみらい21地区のグランモール公園で、JA横浜や市内の生産者と連携し、横浜産の野菜の直売などを行います。旬で新鮮な農畜産物を味わい、「横浜農場」(\*)をみんなで盛り上げましょう。

※「横浜農場」は、意欲的な生産者や多彩な農畜産物、農景観など、身近に魅力ある農が存在する横浜を農場に見立てたキャッチフレーズです。



**日時** フェア期間中 (3月25日(土)～6月4日(日)) の月曜から金曜 14時～17時 (予定)

※土曜・日曜にも加工品の販売やワークショップなどを実施します。

**場所** グランモール公園 中央広場 (西区みなとみらい3丁目)

**問合せ** 環境創造局農業振興課

TEL 045-671-2639 FAX 045-664-4425



### みなとガーデン

※写真はイメージです